



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場会社名 玉井商船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9127 URL <http://www.tamaiship.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 展雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 木原 豊 (TEL) 03-5439-0260
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,289	△15.3	△131	—	△151	—	△78	—
2019年3月期第1四半期	1,522	58.0	203	—	193	—	231	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △80百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 224百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△40.44	—
2019年3月期第1四半期	120.17	—

※当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,863	5,268	39.6
2019年3月期	12,090	5,427	43.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 5,089百万円 2019年3月期 5,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・2020年3月期期末配当予想額は、現時点では引続き未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,400	△7.9	△160	—	△200	—	△70	—	△36.23
通期	5,500	0.2	△60	—	△130	—	△30	—	△15.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,932,000株	2019年3月期	1,932,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,561株	2019年3月期	1,541株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	1,930,456株	2019年3月期1Q	1,930,580株

※当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、未だ将来に対する不安は拭いきれないものの、ある種の小康状態の下での発展が継続しているものと思われれます。先進国については米国と中国の貿易摩擦が世界経済に及ぼす影響や、EU圏諸国の政治、特にイタリア経済に対する不安、更には今秋のBREXIT等の不安定要素が継続しています。また米国経済に関しては少しペースが落ちるかもしれませんが、今後も順調な発展が継続されることが予期され、全体としては今後の米中貿易交渉が解決に向けて推移していく事に伴い安定的な発展が予想されています。また新興市場国と開発途上国に関しては、昨年暮れから今年前半にかけて中国の経済は徐々に米国との貿易摩擦の影響が現れ、悪化を招きましたが、政府の内需刺激策と、米国との貿易摩擦の当面の緩和による景気振興策が功を奏して、継続的な経済の発展状態に回帰しつつあります。更に他の新興国では、インド、ブラジル、ロシア、トルコなどが一時の不況から抜け出して更なる発展が期待されていますが、全体として現在は上記のような世界経済の停滞リスクと中東等の地政学的リスクによる足踏み状態に在る物と考えられます。

一方、わが国の経済も、世界経済回復への期待感もあり、改善傾向にありますが、世界的な保護主義化と貿易摩擦、更には地政学的不安等によって停滞を余儀なくされている様にも見受けられ、異常気象等による自然災害に対する不安も混在しています。

このような世界経済情勢の下、外航ドライバルクの海運市況は、2016年初頭に経験したボルチックインデックス史上始めて以来、最悪の状態から依然として回復途上にあり、上記の世界経済の将来への不安、地政学的リスク、自然災害等により、現在は足踏み状態に在るものと考えられ、今後時間の経過と共に現在予想される船舶竣工量と世界経済発展に伴う貿易量の拡大のバランス、更には、2020年1月1日から施行される船舶燃料油に含有される硫黄成分の規制に伴い発生する見込みの船舶需給バランスの改善等が、今後の海運市況の動向に影響を及ぼすものと考えられます。

以上のような状況下、安全と顧客へのサービスを第一に、市況リスク並びに運航リスク、更には環境負荷の軽減に全社で努力を傾注すると共に、太平洋と大西洋を結ぶトランスオーシャン輸送に当社所有の船舶を可能な限り配船し、安全且つ経済的、効率的な輸送と配船に勤め、新規カーゴの獲得に鋭意努力しておりますが、今四半期は継続する世界経済の変調に伴う海運市況の停滞、異常気象、粗悪油その他の運航リスク等の影響により、収支は昨年比悪化しました。

この結果、営業収益は1,289百万円（対前第1四半期連結累計期間比△232百万円、15.3%減）、営業損失は131百万円（前第1四半期連結累計期間203百万円の営業利益）、経常損失は151百万円（前第1四半期連結累計期間193百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は78百万円（前第1四半期連結累計期間231百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

・外航海運業

支配船舶による北米からの輸入穀物や南米からの水酸化アルミや海外向けのスラグの輸送を行い、運航採算の向上に努めるとともに、一部支配船舶の短期貸船により安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前第1四半期連結累計期間に比べ、短期貸船料の減少や一部船舶において滞船期間が長くなった影響で、1,054百万円（対前第1四半期連結累計期間比△226百万円、17.6%減）となりました。営業利益面は、燃料油価格の高騰等で運航費の増加や2019年5月に竣工した新造船に係る船費等の営業費用の増加があり、21百万円の営業損失（前第1四半期連結累計期間291百万円の営業利益）となりました。

・内航海運業

定期用船2隻による水酸化アルミなどの輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船1隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。また船員を他社へ融通し派遣業収入を得ました。

営業収益は、船員を他社へ派遣しその他海運業収益が増加したものの、内航ドライバルクの航海数の減少等により、200百万円（対前第1四半期連結累計期間比△5百万円、2.8%減）となりました。営業利益面では、他社への派遣船員に係る人件費等のその他海運業費用の増加があり、3百万円の営業利益（同△6百万円、63.0%減）となりました。

・不動産賃貸業

不動産賃貸業においては、営業収益は、34百万円(対前第1四半期連結累計期間比△1百万円、2.9%減)、営業利益は、13百万円(同△0百万円、6.0%減)となりました。

(注) 営業利益は配賦不能営業費用(125百万円)控除前のものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ773百万円増加し、12,863百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金の減少などにより676百万円減少し、固定資産が主に船舶の取得により1,449百万円増加したことによるものです。負債は7,595百万円となり、前連結会計年度末に比べ932百万円の増加となりました。これは、流動負債が主に前受金の減少などにより68百万円減少し、固定負債が、長期借入金の増加などで1,000百万円増加したことによるものです

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失78百万円や剰余金の配当77百万円などによる株主資本の減少155百万円、その他有価証券評価差額金の減少によるその他の包括利益累計額合計の減少4百万円などにより、前連結会計年度末に比べ159百万円減少し、5,268百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結会計期間以降における業績予想の見直しを行った結果、2019年5月10日付当社「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました2020年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、第2四半期以降の為替レート及び燃料油価格は下記の通り想定しております。

	前回予想 (2019年5月10日公表)	今回予想 (2019年8月6日公表)
期中平均為替レート 予想燃料油価格	1US\$=110円 US\$467/MT	1US\$=108円 US\$486/MT

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	855,010	292,669
海運業未収金	222,841	269,903
貯蔵品	259,398	328,663
その他流動資産	362,749	132,423
流動資産合計	1,700,000	1,023,659
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	7,574,864	10,054,557
建物（純額）	243,558	237,991
器具及び備品（純額）	4,689	7,732
土地	168,638	167,828
建設仮勘定	1,170,170	—
その他有形固定資産（純額）	9,528	11,617
有形固定資産合計	9,171,450	10,479,727
無形固定資産	2,466	2,369
投資その他の資産		
投資有価証券	616,544	611,007
退職給付に係る資産	56,810	53,916
繰延税金資産	435,193	585,152
その他長期資産	107,939	107,982
投資その他の資産合計	1,216,488	1,358,059
固定資産合計	10,390,406	11,840,155
資産合計	12,090,406	12,863,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	242,155	262,317
短期借入金	200,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	765,237	904,665
未払法人税等	35,027	69,867
前受金	535,957	10,455
賞与引当金	29,057	7,382
その他流動負債	75,892	260,556
流動負債合計	1,883,328	1,815,243
固定負債		
長期借入金	3,604,046	4,539,278
繰延税金負債	783,541	879,550
特別修繕引当金	180,732	148,698
退職給付に係る負債	48,243	49,855
長期末払金	38,700	38,700
資産除去債務	13,363	13,419
その他固定負債	110,687	110,605
固定負債合計	4,779,313	5,780,106
負債合計	6,662,642	7,595,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	282,304	282,304
利益剰余金	4,084,286	3,929,001
自己株式	△1,886	△1,902
株主資本合計	5,066,703	4,911,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,835	177,775
その他の包括利益累計額合計	181,835	177,775
非支配株主持分	179,224	179,286
純資産合計	5,427,764	5,268,465
負債純資産合計	12,090,406	12,863,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
海運業収益	1,486,991	1,255,235
海運業費用	1,184,764	1,271,506
海運業利益又は海運業損失(△)	302,227	△16,271
その他事業収益	35,227	34,212
その他事業費用	9,768	11,734
その他事業利益	25,459	22,477
営業総利益	327,686	6,206
一般管理費	124,064	137,473
営業利益又は営業損失(△)	203,622	△131,266
営業外収益		
受取利息	165	171
受取配当金	10,039	10,693
為替差益	6,514	—
燃料油売却益	3,694	4,018
その他営業外収益	1,296	611
営業外収益合計	21,711	15,495
営業外費用		
支払利息	25,281	20,118
支払手数料	5,000	5,834
為替差損	—	7,834
その他営業外費用	1,549	2,314
営業外費用合計	31,831	36,101
経常利益又は経常損失(△)	193,501	△151,873
特別利益		
固定資産売却益	131,529	88,306
特別利益合計	131,529	88,306
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	325,031	△63,567
法人税、住民税及び事業税	22,631	65,454
法人税等調整額	68,630	△52,284
法人税等合計	91,261	13,169
四半期純利益又は四半期純損失(△)	233,769	△76,737
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,774	1,328
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	231,995	△78,065

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	233,769	△76,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,298	△3,872
その他の包括利益合計	△9,298	△3,872
四半期包括利益	224,471	△80,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221,816	△82,126
非支配株主に係る四半期包括利益	2,655	1,516

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	1,280,795	206,195	35,227	1,522,218	—	1,522,218
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,280,795	206,195	35,227	1,522,218	—	1,522,218
セグメント利益	291,366	9,694	13,884	314,945	△111,322	203,622

(注) 1 セグメント利益の調整額△111,322千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	1,054,749	200,485	34,212	1,289,448	—	1,289,448
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,054,749	200,485	34,212	1,289,448	—	1,289,448
セグメント利益又は損失(△)	△21,981	3,588	13,053	△5,339	△125,927	△131,266

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△125,927千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。